

JPDA 4月臨時理事会議事録

日 時：平成31年4月17日（水）午後1時30分～午後6時30分

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中20名（伊藤 透、井上 聡、青木（入江）あずさ、牛島志津子、
畝野裕司、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、鈴木智晴、
高田知之、竹内清高、中越 出、中森恭平、永田麻美、藤田 隆、三原美奈子、
森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）

監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

欠席届名（梅原 真、加藤芳夫、小原 司、信藤洋二）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡
池田 毅、時田秀久

議事の経過

定款第31条(議長)により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者22名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、池田毅監事、時田秀久監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

第1号議案 新入会員入会承認の件

本日の理事会までに、個人2人から入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の入会を承認した。

(1) 個人会員（2人）

<東日本>

1. 佐野 哲郎（さの てつろう）【推薦者＝時田 秀久】

<西日本>

2. 濱田 佳世（はまだ かよ）【推薦者＝時田 秀久】

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届けを提出した下記の個人会員2人の退会を承認した。

(1) 個人会員 (2人)

<東日本>

1. 小宮 麻美子 (こみや まみこ) 【31年3月末退会希望】
(近年は協会の活動にほとんど参加できず、東日本個人会員のご主人のサポート的な仕事になっており、会員である必要がなくなったと判断したため)
2. 井上 幸春 (いのうえ ゆきはる) 【31年3月末退会希望】
(一身上の都合)

第3号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記6件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1) 協賛名義使用の依頼 (2件)

1. 「**第88回東京インターナショナル・ギフトショー秋2019**」及び
「**東京インターナショナル・ギフトショー2019 第6回LIFE×DESIGN**」
【2019年9月3日(火)～6日(金) 東京ビッグサイト 西展示棟】
主催：株式会社ビジネスガイド社
2. 「**日本プロモーションナル・マーケティング協会展**」
【2019年10月23日(水)～25日(金) 東京都立産業貿易センター(台東館)】
主催：日本プロモーションナル・マーケティング協会

(2) 後援名義使用の依頼 (4件)

1. 「**World Interiors Week 2019 in japan**」
【2019年5月24日(金)～30日(木)】
全国5会場でインテリアデザイン関連セミナー、国際トレンドセミナーを開催】
 - ・第1会場：東京ミッドタウンタワー5階
 - ・第2会場：名古屋市中区 国際デザインセンター
 - ・第3会場：大阪芸術大学キャンパス
 - ・第4会場：九州産業大学キャンパス
 - ・第5会場：沖縄県 那覇市内会場※上記期間内に、セミナー以外の学生作品展、WIDデザインシンポジウム、参加型イベント企画、地位ネットワーク企画を開催

主催：公益社団法人日本インテリアデザイナー協会
公益財団法人日本デザイン振興会

2. 「2019日本パッケージングコンテスト」(後援+JPDA協会賞交付)

【審査日：2019年6月13日(木)、
表彰式：2019年8月29日(木) 東京ガーデンパレス】
主催：日本包装技術協会

3. 「インテリア ライフスタイル」

【2019年7月17日(水)～19日(金) 東京ビッグサイト 西展示棟】
主催：メッセ フランクフルトジャパン

4. 「第21回 福岡デザインアワード」

(依頼書着が理事会の前日だったため、議案書とは別途に案内)

【2019年11月12日(火)～13日(水) JR九州ホール】
主催：福岡産業デザイン協議会

第4号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事(当日欠席のため資料で確認)より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- 伊藤理事長報告
- ・3/14 60周年企画展打合せ
 - ・3/19 調査研究セミナーに出席
 - ・3/28 協会案内リニューアル打合せ
 - ・4/1 60周年企画展打合せ
 - ・4/9 決算監査立ち会い
 - ・4/16 JPC贈賞式に出席、アスパックキックオフミーティング
 - ・4/18 APD・デザイン会議キックオフミーティングに出席予定
 - ・4/19 60周年企画展打合せに出席予定
タイポグラフィー協会表彰式パーティーに出席予定
- 井上副理事長報告
- ・4/1 西日本委員会キックオフミーティング
 - ・4/9 決算監査立ち会い
 - ・4/18 APD・デザイン会議キックオフミーティングに出席予定
 - ・5/6 アスパック・西日本キックオフミーティングに出席予定
- 加藤専務理事報告
- ・3/14 60周年企画展打合せ(京橋サントリー食品応接)
 - ・4/1 60周年企画展打合せ(京橋サントリー食品応接)

- ・ 4/10 JPDAパッケージデザイン学校打合せ（事務局）
- ・ 4/12 グラフィックトライアル展 レプションに出席（印刷博物館）
- ・ 4/15 60周年企画展打合せ（京橋サントリー食品応接）
- ・ 4/16 JPC授賞式（如水会館）、ASPACキックオフミーティング（ブラビス）

第5号議案 平成30（2018）年度事業活動報告及び収支決算報告 承認の件

（1）平成30（2018）年度事業活動報告

別添資料に基づき、渡邊事務局長から、平成30（2018）年度事業活動実績が報告され、原案通り承認された。（別添資料参照）

（2）平成30（2018）年度収支決算報告

引き続き、別添資料に基づき、渡邊事務局長から、平成30（2018）年度収支決算が報告され、原案通り承認された。（正味残産増減計算書=損益計算書 参照）

平成30年度の**経常収益は予算6,665万円に対し6,473万円の実績**で終了し、**予算を192万円下回った**。

この主な要因は、会員の受取収入では、新入会者数・全体の会員数がいずれも見込みに届かずマイナス120万円。事業収益のマイナス135万円は、応募者が予定よりも少なかったコンペティション事業等のへこみを、それ以外の収益ではカバーできなかったことにある。

とくにここ数年続いている会員数の減少は今後の収益面で大きな課題となっている。一方、**経常費用では、予算6,648万円に対し実績が6,261万円**で**予算に対して387万円内輪**で終了した。

公益事業会計では、人件費、会場費、通信運搬費を中心に590万円下回ったのに対し、法人会計はプラス201万円であった。

公益の会場費が大きく予算を下回ったのは、法人会員の会議スペースを無償で借りるケースが増えたことによるが、人件費、通信運搬費のマイナスは、事務局員の業務時間で割り振る公益：法人の比率が、昨年6月に12年間事務局に勤めた社員（公益業務が90%）の退社によって、大きく変わったことが要因となっている。

（公益比率（58%⇒50%）：法人（42%⇒50%））

全体の**経常費用に占める公益事業の比率は66.48%**であった。

経常収支を見ると、予算との比較では、公益事業がプラス70万円、収益事業がプラス2万円、法人会計がプラス123万円であり、**全体予算17万円に対し実績が212万円と、プラス195万円**で終了した。

退職金関連、60周年記念事業積立等の**経常外収支は△50万円**であり、これを加えた**当期一般正味財産増減額は+162万円**であった。

別途パワーポイント資料で、2009～2018年の会員数、会費収入が漸減傾向にあること。また、正味財産期末残高が周年事業終了後に大きく落ち込むことを案内した。損益計算書以外の貸借対照表等の財務諸表を加えた決算書類については、4月9日に厳正な監査を行い、池田、時田両監事から監査報告書をいただいている。5月30日の通常総会では全体の決算書を報告し承認をいただく予定である。

第6号議案 第38回通常総会招集の決定 承認の件

渡邊事務局長より、資料に沿って下記の内容が提案され承認された。

1. 「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第38条 理事は、社員総会を招集する場合には、次に掲げる事項を定めなければならない。
 - 一、社員総会の日時及び場所
日時：令和元年5月30日(木) 午後3時30分～4時45分
場所：東京ガーデンパレス 2階「高千穂(A)」
 - 二、社員総会の目的である事項があるときは、当該事項
議題：第1号議案 平成30年度事業活動実績 報告の件
第2号議案 平成30年度収支決算報告 承認の件
第3号議案 令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案) 承認の件
 - 三、社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができることとするときは、その旨
第38回通常総会開催に当たり、通常総会に出席できない社員が書面によって議決権を行使しようとするときは、議決権を行使することができることとする。
2. 理事会設置一般社団法人においては、前条第二項の規定により社員が社員総会を招集するときを除き、前項各号に掲げる事項の決定は、理事会の決議によらなければならない。

第7号議案 委員会報告

<承認事項>

●調査研究(a)・(b)

- ・冒頭中越理事より、3/19(火)に開催された第1回研究発表会「パッケージデザインの価値はどうか?」についての結果報告があった。参加者へのアンケート結果では「有意義な研究会であった」という評価が大半を占めており、伊藤理事長からも、大変面白い内容であり、今後も今回の方向で継続してほしいとのコメントがあった。(牛島理事、三原理事も同意見)
- ・加藤(桑)理事からは「1回目は比較的技術よりの話が多かったので、2回目はデザインに焦点を当てた内容にしようと考えていたが、皆さんからの意見も入れて、今後委員会で検討していきたい」という補足があった。
- ・中越理事から資料に基づき、年間の活動報告と2019年度の計画についての報告があった後、平成30年度全般の収支報告があり、
 - (a) 調査研究及びWEBサイトの用資料の作成 (WEBサイト「情報の森」の企画・運営)

・公益会計：収入 0円、協会補助 290,000円、支出 146,200円、収支差額 +143,800円

(b) 調査研究成果の発表（第1回研究発表会：参加者40名）

・公益会計：収入 127,000円、協会補助 0円、支出 92,052円、収支差額 +34,948円

(a)・(b)2件とも承認された。

●アーカイブ

・青木（入江）理事より、資料に基づき平成30年度全般の収支報告があった。

予定していた第1回アーカイブセミナーの講演者が変わったことにより、収入面で参加費、参加者数とも予算を大きく下回った反面、費用面で諸謝金が抑えられたことや、予定していた「声のアーカイブ」が4月にずれ込んだことにより制作費が予算を大きく下回ったことから、全体ではかなり内輪に収めることができたとのこと。

・収支報告では、

公益会計：収入159,500円、協会補助608,480円、支出459,634円、収支差額+308,346円
が承認された。

●広報

・中森理事より、4月に発刊された広報誌Vol.2（出席者全員に配布）の内容紹介があった後、平成30年度年間の

収支報告（広報誌Vol.1+Vol.2）があり、

公益会計：収入1,270,000円、協会補助1,760,000円、支出3,002,540円、

収支差額+27,460円

が承認された。

●インターネット

・中越理事より、資料に基づき年間の活動報告（「マイワークス」リニューアル、「アカデミーボックス」の新設等）と収支報告があり、

法人会計：収入1,455,000円、協会補助 1,280,000円、支出2,586,834円、

収支差額 +148,166円

が承認された。

●コンペティション

・竹内理事より、資料に基づき年間の収支報告があり、

収入面で応募数の減少（昨年に比べて76件減）や追加のトロフィー等の受注件数の減少により、予算を94万円ほど下回ったことに加え、費用面でも、会場設営費（六耀社への委託費）で作品保管スペースの賃借料や人件費が予想を上回ったことにより、予算を63万円ほどオーバーしたことから、全体の損益が157万円ほど悪化してしまったとのこと。

公益会計：収入12,522,000円、協会補助 -1,188,000円、支出12,900,885円、
収支差額 -1,566,885円
が承認された。

●デザイン保護(a)・(b)

- ・高田理事より、資料に基づき年間の収支報告があり、
(a) WEBサイト上の委員会レポートページの継続用資料の作成
 - ・公益会計：収入 0円、協会補助 230,000円、支出 153,574円、収支差額 +76,426円
 - (b) 知財セミナー2回の開催とD-8デザイン保護研究会への参加継続
 - ・公益会計：収入 107,000円、協会補助 165,000円、支出 224,748円、
収支差額 +47,252円
- (a)・(b)ともに承認された。
- ・なお、予算にあった (c) 特許庁公報検索初級向け補助資料の作成については、30年度は (a)・(b)の活動に時間をかけたため実施しなかったとのこと。

●アスパック

- ・森理事より、資料に基づき年間の収支報告（収益事業）があり、
収入 2,640,215円、支出 2,515,491円、損益 +124,724円
が承認された。
渡邊事務局長より、平成30年度からアスパック協会との取り決めにより、かかった費用に5%の管理費を載せた分を収入としているとの補足があった。
- ・引き続き、森理事より、牛島理事が制作中である資料に基づき「ASPAC Awards 2019」の概要と応募要項について説明があった。
- ・中越理事より、「2019のテーマ“INSPIRE”（インスパイア）がわかりにくいのではないか」との指摘があったが、森理事から「言葉の印象が国によって異なるので、各国審査員とも協議の上、ファジーかもしれないが英語はそのままにすることになった」との説明があった。
小川裕子理事からは「ワークショップをしていない学校ではやはりわかりにくいので、なんらかの説明があったほうがよいのでは」との意見が、また、井上副理事長からは、「確かにいろいろな国があるので、ファジーになるのはわかるが、コンペのテーマは大事なので、今後はもう少し検討した方がよいと思う」という意見が出た。
森理事からは、「皆さんから出た意見を参考にWEBサイト等で検討したい」との回答があった。
- ・渡邊事務局長から「当初今年度の国際交流基金からアスパック協会への予算は500万程度と聞いていたが、それは変わらないのか？」との質問があった。

<以下は予算関係についての質疑応答>

森：2019年度はいままでの表彰式・レセプションに加え、コンペ入賞者たちがその場でデザインするオリンピックのようなイベントを加えたことにより、昨年なみの資金援助（1,600万円）をいただけることとなった。但し、2020年度はまだ確定ではない。

渡邊：昨年度は250万くらいの実績で今期も同様の予算を組んでいるが、今年度も国内ワークショップ（以下WS）の予算40万円は変わらないのか？

森：国内コンペは6～7月に応募を受け付け、7月下旬に予選審査、10月中旬に決勝審査となる。また、JPDAの審査員（予選は6名の審査員：内2名はJPDAの正副理事長）について正式な依頼はしていないが、昨年までと同じ流れであり、国内のWSもすでに東西でスケジュールが組まれていると把握している。現時点では、その国内WS予算は昨年と同額の40万円を考えている。

三原：昨年、日本国内からの入賞者がゼロと聞いているので、いままでのWSに加えて、予選を通過した学生に対して、モックアップが作れるようなWSを東西に1回ずつでも追加した方がよいのではないかと考えている。

- ・江藤：現在の40万でも昨年同様のWSを行うのにかなりきつい予算である。もしWSを追加するのであれば、追加の予算が必要。
- ・森：昨年までは応募者数を増やすのがWSの主な目的だったが、入賞者ゼロは事実であり今年度からは質的な面も考慮する必要があるのは十分に理解できる。スポンサーの獲得状況を見ながら、やり方・時期を含めて事務局と相談していきたい。
- ・藤田：是非検討してほしい。

●出版（年鑑 日本のパッケージデザイン・パッケージデザインインデックス）

- ・山崎理事より、資料に基づき以下の平成30年度年間の事業活動報告があった。
 - ① 『JPDA PACKAGE DESIGN INDEX 2018』を平成30年5月に発刊した。
 - ② 平成30年10/10～12/9 凸版印刷(株)印刷博物館で開催した「現代日本のパッケージ2018」において、「パッケージ「白」の表現」をテーマにした作品展示（『JPDA PACKAGE DESIGN INDEX 2018』の掲載作品の中からピックアップ）を行い、期間中、加藤専務理事をモデレーターに4人のスピーカーによるトークイベントを開催した。
 - ③ 『年鑑 日本のパッケージデザイン2019』はADに日本パッケージデザイン大賞2017の大賞を受賞した東海林小百合氏を起用し、平成31年5月の発刊を目指して進行中。全体的に攻撃的なデザインであり、今回の特色は以下の6点。
 - ・1ページ1作品のレイアウト
 - ・全審査員の審査感想を掲載
 - ・受賞に至る審査概要を掲載
 - ・受賞作品の魅力を伝える作品角版写真
 - ・1・2次全審査員のFavorite作品と選択理由の解説を掲載
 - ・巻末特集「平成のパッケージ/生活を変えたデザイン」を掲載

- ・引き続き山崎理事より、資料に基づき以下2件の収支報告（いずれも公益会計）があり、
 - 『年鑑 日本のパッケージデザイン2019』の発刊準備
 - ・収入 0円、協会補助 190,000円、支出 161,647円、収支差額 +28,353円
 - 『JPDA PACKAGE DESIGN INDEX 2018』の発刊
 - ・収入 519,803円、協会補助 -351,248円、支出 699円、収支差額 +167,856円
 いずれも承認された。

●60周年記念事業プロジェクト

- ・渡邊事務局長より、資料に基づき年間の収支報告があり、
公益会計：収入 0円、協会補助 380,000円、支出 117,760円、収支差額 +262,240円
が承認された。

●収支決算に伴う収支計算書の微修正

渡邊事務局長より、以下5件の収支決算に伴う収支計算書の訂正があり、いずれも承認された。

- ① 「感じるパッケージデザイン展」(公益)：東京オープニング参加者数の訂正
収入 2,220,000円、協会補助 790,000円、支出 2,671,642円、収支差額 +338,358円
- ② 第37回通常総会 記念講演会 (公益)：制作費の訂正
収入 0円、協会補助 750,000円、支出 688,794円、収支差額 +61,206円
- ③ 西日本勉強会 ここんvol.1 (公益)：旅費交通費の訂正
収入 57,000円、協会補助 125,000円、支出 154,764円、収支差額 +27,236円
- ④ 東京デザイン会議 (公益)：制作費の訂正、参加者(会員・一般)の集計違い
収入 947,000円、協会補助 600,000円、支出 1,488,386円、収支差額 +58,614円
- ⑤ 東日本「新年デザイン交流会」(法人)：参加者(会員・一般)の集計違い
収入1,289,500円、協会補助 0円、支出 1,328,000円、収支差額 -38,500円

<報告事項>

●アーカイブ

- ・青木(入江)理事より、資料に基づき、11月6日(水)～17日(土)の間、東京のグッドデザイン丸の内での開催を検討している、第1回 日本パッケージデザイン大賞(1985年から隔年でコンペを開催)展：「平成という時代とパッケージデザイン(仮)」についての案内があった。(期間中、別会場で関係者によるセミナーも検討中)
- ・展示内容は日本パッケージデザイン大賞2017までの大賞・金賞受賞作品69点のアーカイブ作品と未収集作品パネル、及び、社会背景の年表等を検討しているとのこと。

- ・伊藤理事長、渡邊事務局長から、大賞2019の入賞作品の展示も是非加えてほしいとの要請があり、入江理事は了承した。
- ・渡邊理事長より、5月に発刊される『年鑑 日本のパッケージデザイン』の巻末に「平成のパッケージ」が年表入りで特集されているので参考にしてほしいというサジェスションがあった。

●教育

- ・永田理事より、資料に基づき前回の理事会で梅原理事より提案のあった「グラフィックデザインとパッケージデザインは違うんです」というタイトルの教育セミナーの開催についての案内があった。

JAGDAの佐藤卓会長には出演を依頼してすでに了解を受けており、JPDAからは加藤芳夫専務理事がスピーカーとして登壇し、梅原理事がレフリーとして参加されるとのこと。開催日は10月28日（月）19:00～20:30、会場は東洋インキ(株)29階の大会議室、参加費は2,500円で考えており、120人の参加者があれば損益はゼロになる見込み。

- ・伊藤理事長から参加費は3,000円でもよいのではないかとの意見があり、時田監事、渡邊事務局長も同意見であったことから、永田理事も再検討を了解した

第9号議案 事務局報告（時間配分の都合により、8号議案と9号議案の順序を変更した。）

- ・渡邊事務局長より資料に基づき以下の報告があった。

1. 第6号議案で承認された第38回通常総会の詳細スケジュール。

会場	部屋予約時間	催し	催し開催時間
2階 天空(A)	12:30～15:30	定例理事会	13:00～15:20
2階 高千穂(A)	14:00～17:00	通常総会	15:30～16:45
2階 高千穂(B)	16:30～19:00	講演会	17:00～18:30
2階 高千穂(A)	18:45～20:45	交流会	18:45～20:45

- ・なお、講演会については、日本パッケージデザイン大賞2019の2つのカテゴリーで金賞を受賞した(株)ライトパブリシティの鈴木奈々瀬氏をメインとしたトークショーを計画中。
2. 平成30年度の年間入会・退会者について
 - ・入会者は計25人社、退会は計39人社で14人社の減。（個人会員は16名の減、法人会員は2社増、賛助会員は増減なし）
 3. 山本事務局員の採用について
 - ・昨年6月より嘱託事務局員だった山本夏帆さんを31年4月より正社員として採用した。
 4. JPDA協会案内のリニューアルについて
 - ・2013年に制作したJPDA協会案内を4月にリニューアルした。（出席者全員に配布）

5. JPDA事業カレンダー2019の制作について

- ・6月上旬完成の予定なので、変更がある委員会は5/17（金）までに事務局まで連絡してほしい。

6. 蔦屋巡回展の中止について

- ・6月中旬に予定していた蔦屋代官山店での巡回展は主に予算上の問題から中止することになった。

7. 60周年記念シンボルマークと APD2020 in NARAシンボルマークの公募について

- ・会員へはすでにWEBサイトとメルマガで案内している上記2つのシンボルマークの公募は5月19日（金）締切だが、まだ1件の応募しかきていないので奮って応募してほしい。

8. その他

- ① 法人会員（株）Tooが運営しているデザインスクール 「Training Center 『Desi』」 の JPDA会員特別割引の案内（パンフレット配布）
- ② （公社）日本デザイン振興会主催のグッドデザイン賞応募受付の案内
- ③ 4/3(水)～4/5(金)にビッグサイトで開催された展示会（主催：賛助会員 リード エグジビション ジャパン(株)）にJPDA紹介のミニブースを設置した件
- ④ 東日本個人会員 小玉 文（あや）氏が 3/6の日経MJ誌に紹介された件
- ⑤ 2019年度の事業計画と収支予算を3/25に内閣府に電子報告した件

第8号議案 「デザインを強くする」委員会活動・WSを踏まえた委員会再構成案の報告
井上副理事長より、資料に基づき昨年7月から理事会でディスカッションやWSを行ってきた「デザインを強くする」＝「JPDAを強くする委員会活動」についてのまとめと、今後議論していくべきポイントについての説明があった。

- ・2018年1年間にJPDAの16の委員会は、207名の委員（重複もあり）により、6つの展覧会、11のセミナーと4つのWS（海外含む）、2つの視察、12の交流イベントを実施した。そのポイントをまとめると、「啓発し学ぶこと」、「デザイン力を研く」こと、「交流し・共有する」ことを通して「**パッケージデザインの価値**」を定義し、それを「**外部に発信してその価値を報せる**」ことに集約される。

今後の議論の中で、「セミナー企画の統合」や「地域間の連携強化」、「クリエイティブの視点での活動の整理」や「収益の視点を加えて活動にゆとりをもたせること」を考え、できるところから手を付けていきたいと考えている。

因みに、西日本では今年度のテーマを「あえる」とし、勉強会を4回予定しており、2020年の60周年記念事業「アジアパッケージデザイン会議 in NARA」では国際交流・国内交流・東日本各委員会との連携で進める計画である。

<フリーディスカッションで出た意見のまとめ>

① 協会の全体戦略が見えない。

- ・JPDAが考える「パッケージデザインの価値」が明確に打ち出されていない。
(例)「アイボ」が日本パッケージデザイン大賞2019を受賞した理由が協会内で共有化されているか？
- ・サントリーの「水と生きる」のような、一言で言える理念・スローガンがない。
- ・各委員会が勝手に活動しており、協会としての事業戦略がない。
- ・予算が決まってから活動計画を考えているのが現状。

② 外部への広報が弱い。

- ・協会活動の実態は外部だけではなく、会員にも十分理解されていないのでは。
- ・各委員会はイベントを企画・運営しているが、それを広報するノウハウがない。
- ・現在のセミナー等のテーマが、メディアが興味を抱くものになっているか？
- ・協会内にプロの広報人材が不在で一般的な広報体制がとれていない。

<5月・7月の定例理事会とは別に臨時理事会を招集することを決定>

- ・定例理事会では通常の審議事項も多く、ゆっくりと議論ができないので、上記の①・②を議論するための臨時理事会を開催する。(伊藤理事長)
- ・6月18日(火)の午後、文京シビックセンターで開催予定。
(具体的な場所・時間は後日事務局より案内)

第10号議案 次回定例理事会開催の件

伊藤理事長より次回5月の定例理事会について案内があった。

日時：令和元年5月30日(木)午後1時00分(通常より30分早いスタート)～3時20分

場所：東京ガーデンパレス 2階 「天空A」

東京都文京区湯島1-7-5 TEL：03-3813-6211

以上